

お西さん

2001
7-8

「おかげさま」

無事に、三大法要を終えた。
延千五百人の、御参拝を頂き、感無量である。
それにしても大行事には、いつの時も多くの方々のお世話になる。
別院職員も、それぞれに光を放ってくれた。人間は支えなしでは独壇上は、なり立つはずはない。如何なる名優でも、一人芸では悲喜の表現は、むつかしかろう。
悪役あり、子役あり、幕引きあり、照明あり舞台下の黒子あり化粧役あり結髪あり衣装役あり、色々な支えの中に名優は生かされている。
光の当る場所にいる人間は又光の当たらぬ場見えない場にいる人々の働きに支えられてすべてが成就されるものである。
「かげ」の力。「陰」の働き、数々の大法要を経験した中でしみじみ感ずる事である。正に「おかげ」さまでした。と改めて感謝したい。
すばらしい働きの中で出された結果を忘れてたくない。
私の生涯の中で、多くの方々に感謝を捧げて別れを告げよう。

鷺山 諦住

お盆参り・盆おどりのため7月10日(火)~23日(月)まで、
月忌参りはお休みさせていただきます。

「なごみ」の寺 本願寺函館別院

函館市東川町12-12 ☎(0138)23-0647

5月11日(金)

即如御門主様 御親修法要



●御門主様へ親教

ただ今は皆さまと一緒に当南館別院蓮如上人五百回遠忌法要、そして別院開基百四十五年慶讃(記念)法要をお勤めすることが出来ました。

幕末、安政四年、寺社奉行から許可を得て始まる当南館別院の歴史は様々の困難を重ねてきましたが、多くの熱心な僧侶、開信徒の方々のご努力によりまして今日を迎えることが出来ました。誠に有り難く存じます。

私は別院の十五年前の開基百三十年慶讃(記念)法要、そして七年前には報恩講をご二諸にお勤め致したことを思い起こしています。

さて、三年前に京都の本願寺でお勤め致しました蓮如上人五百回遠忌法要にご参拝下さった方もいらっしゃると思いますが、今日は百四十五年の歴史を持つ南館別院で法要を勤めることが出来ました。重ねて有り難く存じます。

本願寺第八代の蓮如上人は京都の東山の施にひっそりとありました親鸞聖人のご廟所としての本願寺において法灯を継がれました。次第に活躍の場を広げられまして多くの人々に南無阿弥陀仏のお心を伝え生きた喜びを得させて下さいました。

今日では浄土真宗と言うと古くからある仏教の一派だとお感じになる方もありますが、蓮如上人の当時は新興勢力で、琵琶湖に面した堅田、日本海に面した越前吉崎、あるいは大坂の淀川、湾岸沿いの石山、堺と言った交通の要衝、流通経済の拠点に注目をされました。このような人々に受け入れられたことは今日の私たちにとつて大切課題であると思います。南無阿弥陀仏二つを拠り所に生きるということは、自由な伸び伸びとした人生を拓くことがわかります。

蓮如上人は激動の時代に学術的な書物は残されませんでした。活動しながら法を伝えられました。その折々のお言葉を記した「蓮如上人御二代開書」という書物があります。

その中に「人々に苦勞をさせずにただ信心を得させたいと思つている」というお言葉があります。その通りのご生涯でありました。

この「御二代開書」は最近、現代語訳も出版されました。是非お読みになつて頂きたいと思つています。

浄土真宗の教えの中心は阿弥陀如来のご本願です。親鸞聖人は「本願他力をたのみて自力離れたり。これを唯信という」と仰いました。唯信、ただ二つを信じるということでありました。

浄土真宗の信心とは、私の思いも阿弥陀如来様に向けることであつてはなりません。

私の思いは、大きな夢や希望もあれば、後悔、愚痴、不満もあります。その二つを阿弥陀様に解決して頂くのではなく、その様な思いを持った私の全体が阿弥陀如来様によつて、支えられて包まれてる真実の世界へと導かれてゆくことでもあります。

ですからこの阿弥陀様のおはたらき、南無阿弥陀仏を頂くことによつて人生が拓かれてゆきます。

他力だから何もしないと何もしない怠け者になるのではなく、阿弥陀様に支えられ導かれてあらゆるいのちの繋がりの中に精一杯生きてゆくことでもあります。

先ほどの「御二代開書」には「弥陀をたのめば南無阿弥陀仏の主になるなり南無阿弥陀仏の主になる」という信心を得ることなり。また、「当流の真実の宝」という南無阿弥陀仏これ一念の信心なり」というお言葉があります。

周りを見てあちらへこちらへと揺れ動く人生、真実の宝物を頂きますと自分自身の拠り所ができ、他のいのちを受け入れるゆとりが生まれてきます。

腐つて無くなる宝物ではなく、減つてゆく心配もない、何時でも何処でも誇りにすることのできる本当の宝、南無阿弥陀仏として教えて下さいました。

世の中にただ従うだけではなくて、自分の人生に責任を持ち誇りをもって、地球、人類の一員としての責任を持って生き抜きたいと思ひます。

なお、現代の社会は動きが激しく故郷を離れた方々の中には仏法のご縁に遇うことのできない方も少なくありません。

さらに近くにお寺があつても体の不自由な方にはお参りに難いことはいだらうか。今日まで課題として取り組まれていましたが、今後も更に工夫を重ねて積極的に取り組んで下さるよう願つております。

当別院が先人の方々の願ひを受け継ぎ、現代の課題を担つてお念仏を喜び、伝える拠点としてさらに皆さまに親しまれますよう願つております。先人の方々がお念仏申して歩まれた道を私たちもお念仏申しつつ歩ませて頂きますように。

●大谷光眞御門主様御親修法要表白文

省みますと応永二十二年(四二五)、京都東山大谷の本願寺においてご誕生になった蓮如上人は、御歳四十三歳にして本願寺第八代の法灯をお継ぎになり、並々ならぬ決意をもつてご教化を進められました。



文明三年、越前吉崎に一寺を建立され「御文章」によつて教えを説かれ北陸より近畿、東海、奥州、に至るまで教線を広げられました。その後、上人は

北陸の争乱を避けて摂津河内和泉等へ移動され、文明十二年、京都山科の地に御影堂、続いて阿弥陀堂を建てられ本願寺を再興されたのであります。

やがて明応八年(四九九)三月二十五日、御歳八十五歳にしてご往生の素懐を遂げられました。

誠に上人の生涯を通じてのご教化によりお念仏の輪は全国に広がつて今日の宗門、本願寺の礎が築かれたのであります。

当別院は安政四年、現在地に二字の坊舎を建立し願乗寺と称したことに始まり、明治十年、本願寺函館別院と公称するに至りました。それ以来、今日まで函館地方における仏法教化の中心としてその役割を果たしてきましたが、ここに今日開基百四十五年慶讃法要を迎えることとなりました。

これ誠に当地有縁の方々が仏祖のお徳を讃仰し様々な困難の中で御恩報謝の懇念を結集された成果にほかなりません。

この上はこの勝縁を機として当別院が当地の間法と教化の拠点として、今後二層その機能を發揮され人々の心の拠り所となりますよう念じて止みません。敬つて申し上げます。

●不二川総務・随行長様のご挨拶

この度のご法要は誠に盛大に営まれました。御輪番をはじめ崇敬寺院の方々、御門徒の皆さまに大変なご苦勞頂きましたことに心から感謝申し上げます。

ただ今御門主に親教を頂きました。この中で様々なことを仰いましたが、私は昨年末に有名な木村新三郎という人が「時間人」と「空間人」という言葉を使つてお話をされました。時間人というのは時間の中のみで生きていく。「十年後に何をしたい」と云々というように自分の生涯をある程度計画的に生きようとする。別におかしいことではありませんが、それは案外と自己中心の生き方な



なります。できれば「時間人」ではなくて「空間人」になることが望ましいという指摘がありました。

「空間人」というのは周りが良く見える

て自己中心ではないという意味でしょう。先ほどお話になりました環境保護の運動などが各地で行われています。私も様々活動しておりますが、念仏する者の連帯を通じて人類永遠の福祉に寄与するという生き方が大切でしょう。いのちについてもおふれになりました。俳聖・芭蕉の代表作は「古池やかわず飛び込む水の音」と思われていますが、畢生の句とされているのは「よく見ればなすな花咲く垣根かな」であります。

芭蕉はちいさな雑草の中にいのちを見出し、自分のいのちとの関連を思つたのでしょう。

どうかこのご法要を機縁としてさらに間法を重ねて念仏者の連帯の輪を広げて、ご信心の実践に励んで下さい。

●10日には崇敬寺院門信徒物故者追悼法要

鷲山輪番導師のもと、法要が行われました。お勤めの後、鷲山輪番は「厳しい自然に耐えて今日まで別院を護持されてきた崇敬区域の僧侶、門信徒の方々の思い、有り難さをしみじみと噛みしめつつお勤めさせていただいた」と先人らの遺徳を偲びつつ「このご法要がかつてのレンガ造り本堂を復興する機縁となれば」との思いを語られました。



蓮如上人五百回遠忌法要 函館別院創建百四十五周年記念法要 崇敬寺院門信徒物故者追悼法要



ぶっ こ しゃ つい とう ほう よう
御親修法要スナップ集
5月10日(木)・5月11日(金)



御門主様入堂



法要をむかえた朝



婦敬式を目前にした緊張のひとつき



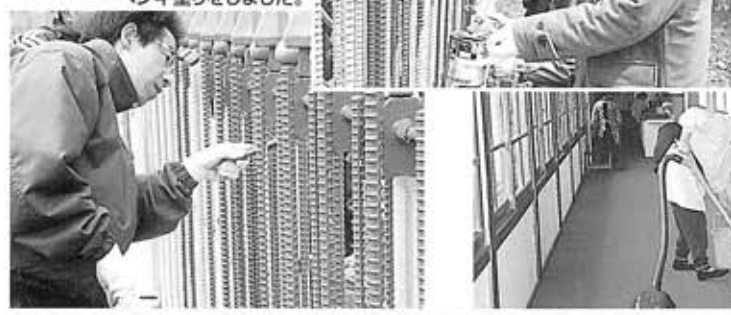
素晴らしい立花にして頂きました。



清岡隆文先生の記念講演

準備風景

輪番・副輪番が先頭に立ってペンキ塗りを行いました。



古い障子紙をきれいに
はがして...



婦火会の皆様にもお手伝い頂きました。

「帰敬式」 受式者の声

●主人が亡くなり、毎日お仏壇の前に座る日常生活の中でちょうど一年位前から自然に法名を頂きたいと思うようになりました。このいのちの尊さを聞き、お互いに生かされているのだと思いました。初めての帰敬式には目を見張り御門主様を始め大勢のお寺の方に見守られてちょっぴり緊張もしましたが、とても良い法名を頂き、皆にいい法名ですねと、誉められうれしく思っています。本当に、どうもありがとうございました。

●今回すばらしいご縁をいただき帰敬式を受けさせていただきました。長時間正座ができないので心配していましたが椅子を用意していただき、立派になった本堂のすばらしい荘厳と普段体験できない緊張感の中で、おかみそりをいただきました。法名は、お経の中からいただいていることも聞き、念仏者としての新たな人生のはじまりにさせていただきたいと思います。ありがとうございました。

来て、見て、食べて、踊って楽しい一夜を共に!!

『今金狩場太鼓』(予定)YOSAKOI『踊る魂 いさり火』(予定)
その他アツと驚く飛び入り参加ありお楽しみ抽選会もあるよ!!

お西さんの 盆おどり

◆とき/平成13年

7月21日

午後6時より

◆ところ西別院境内にて

雨天決行
雨天時は
文化会館にて

《出店一覧》

- たこやき ●おでん ●やきとり
- ビール ●やきそば
- フランクフルト ●かき氷
- わたがし ●ジュース
- ヨーヨーフリ

※会食券1冊500円です。

盆踊り大会を龍谷幼稚園と合同で開催します。ご家族そろってご参加下さい。
お盆提灯をご進納いただいている皆様には昨年の通り、献灯料を1個1,000円をお願いいたします。
また新たに提灯をご進納下さる方は、1個3,000円ですので、ぜひともお上げ下さい。

お盆まいり

◆とき／平成十三年

七月十日(火)～

七月十六日(月)

※本院納骨堂及び台町墓地は
十日より十六日までお勤め
いたします。



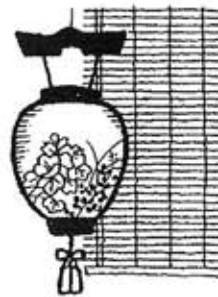
婦人会の方々が十三日(金)に
仏花・ローソク・線香・飲み物などの
ご用意をいたします。どうぞ御利用下さい。

初盆 法要

◆とき／平成十三年

八月五日(日)
午後二時三十分より

◆場所／本堂にて



平成十二年八月より
今年お盆までの
物故者の追悼法要です。

盂蘭 盆会

◆とき／平成十三年

八月十二日(日)
午後二時三十分より

◆場所／本堂にて



西別院門信徒の物故者の
総追悼法要です。

「お供物についてお願いのこと」

墓所においては、カラス・キツネ等のイタズラが
激しく、墓所の美観を損ね、納骨堂においても
生菓子、供花の腐乱が著しい故、お供え物は
読経(お参り)を終えられましたら、仏様からの
おさがりの品々ですので、必ずその場で
お食べになるか、持ち帰られますよう
お願いいたします。

お西さん
テレフォン
法話

24時間お好きなときに
0138 27局 2424 番 いつでもどうぞ

●テレフォン法話順番表●

- 7月 1日(日)～7月 7日(土)…石 黒
- 7月 8日(日)～7月14日(土)…毛 利
- 7月15日(日)～7月21日(土)…平 田
- 7月22日(日)～7月28日(土)…上 野
- 7月29日(日)～8月 4日(土)…八 木
- 8月 5日(日)～8月11日(土)…西 村
- 8月12日(日)～8月18日(土)…輪 番
- 8月19日(日)～8月25日(土)…布教使
- 8月26日(日)～9月 1日(土)…神 田

お寺へ行くこう

ようこそ常例布教へ

(七月はお盆会のため、お休みいたします)
八月十三日(月) 東京教区多摩組 寺
(十五日(水) 貴志 澄園 師
八月十六日(木) 親鸞大学「十四時より」)

お悔やみ申し上げます

永代経懇志

ありがとうございました

「十六日会」への誘い

毎月十六日の親鸞聖人の御命日には十二時三十分よりご門徒の皆さん手作りのお齋をいただく「十六日会」があります。毎月当番でいろんなメニューが出てくるのですが、どれをとっても実においしく、毎月がとても楽しみです。皆さんでおいしくお齋をいただいた後は、宗祖聖人御命日法要に参拝し、渡辺先生の「親鸞大学」で浄土真宗のみ教えを勉強する、本当に有意義な日です。まだいらっしゃったことのない方は、ぜひ一度顔を出してみてくださいね。

(七月はお盆会のため、お休みいたします。)



編集後記

▼また、暑い夏が訪れようとしています。別院の中から函館山を見ていると青々とした木が我も我もと日光を浴びているかのように感じられます。

山の自然が移り変わっていく度に、「いのち」の不思議、また毎日毎日が新しい「いのち」であることを感じます。「今日、この一日」を大切に生かさせて頂きたいものです。

(八木)

“生きるよろこびを親鸞聖人に学ぶ”

函館親鸞大学

- ◆ 講師
渡辺 脊龍氏
- ◆ 開講日時
毎月16日
午後2時より
※但し、7月・10月は休講



入学に
年齢・資格
性別の制限は
ありません

- ◆ 受講料
無料
(但し、教材費別途)

どなたでもお気軽に
御参加下さい。

学校法人

龍谷幼稚園便り



子どものつぶやき



●ハリキリすぎ?●



運動会の入場行進の練習の時

先生「元気よく手を振って歩くんだよ。」のかけ声に、はりきりすぎちゃったMちゃんは、「イチニ、イチニ」といいながら、手と足が一緒になって行進をしていました。思わぬ珍場面を見ることができました。とっても、可愛らしかったです。

●年長児との外あそびのひとつ●

子ども「もっと、も～っとふかくほろう!」

先生「だんだん深くなってきたよ～。頑張れ～。」

子ども「うん、がんばる!」

と掘り続けると……

「あれ～?

なんか見えてきたよ。」

先生「なんだろうねえ。」

子ども

「たぶん、アメリカまで

着いちゃったよ。」

先生「大爆笑」



●先生がんばって!●

子ども達と一緒に、折り紙の本を見ながら折り紙遊びをしていると……

子ども

「先生、これかわいいから作って～。」

先生「え～難しいよ～。」

子ども

「だいじょうぶだよ! いい子にしていればきっとできるよ。だからがんばって!」と、子どもに励まされてしまいました。

●ん?!オオカミ?!●

帰りのバスの中で、道路沿いの木の枝がのびているのを見て

子ども「あっ、木のトンネルだ～。」

先生「そうだね～。すごいね。」

子ども「でも、暗くて、オオカミが出てくるかもしれないから、早く帰ろうネ。」

先生「…… (かわいい!)」

預かり保育

さん さん
燦 燦
クラブ

ご案内

- ◎お仕事をしているお母さんのために
- ◎用事でしばらくみて欲しい人のために
- ◎幼稚園の保育がすんだあと夕方6時30分までお預かりします

- ★対象 龍谷幼稚園児並びに2歳以上の弟妹
- ★担当 幼稚園の先生
- ★内容 保育終了後毎日/幼稚園振替日 夏・冬休み
- ★保育料 園までお問い合わせ下さい